

第5次実施計画(計画期間:平成30年度～令和4年度)

《最終評価》

第5次実施計画では、「自分らしく安心して暮らせるまち」を基本理念に、次の3つを目指すまちの姿とするとともに、11の課題を設定し取組を進めました。

- I 女性も男性も支え合えるまち
- II いろいろな家族のかたちを尊重するまち
- III 女性も男性も地域でつながりあうまち

松戸市男女共同参画プランは、評価重視型計画の視点を特徴の一つに掲げてきました。

第5次実施計画では、事業活動の量的目標(アウトプット指標)を定め、毎年の実績値により政策目的の達成度を計る「活動目標」と、本事業が達成すべき成果を意識目標(アウトカム指標)で設定し、5年ごとの市民意識調査により経年比較を行う「成果目標」を設定しています。

目標値の達成状況

活動目標

活動目標については、令和4年度に捕捉可能な14指標のうち、目標を達成したのは6つ(達成率:42.9%)でした。具体的には、「市役所男性職員の育児休業取得率」や「消防団員の女性の人数」など目標を大きく上回ったものがある一方、「審議会等委員の女性の割合」や「防災会議委員の女性の割合」などは平成28年度の現状値よりも低下しました。これら未達成の指標については、第6次実施計画においても引き続き推進していきますが、様々な分野で女性の社会進出が進むよう、「政策・方針決定過程への女性の参画」の重要性を周知・啓発するとともに、効果的な施策を検討し実施していく必要があります。そのほか、目標の達成に至っていない指標もありますが、概ね改善の傾向が見られます。

めざすまち	指標	H28年度 現状値	R4年度		根拠
			目標値	実績値	
めざすまち I	保育所等の待機児童数	0人	0人	0人	松戸市総合計画第6次実施計画による
	放課後児童クラブの待機児童数	0人	0人	0人	松戸市子ども総合計画による
	地域子育て支援拠点事業	21ヶ所	27ヶ所	28ヶ所	松戸市子ども総合計画による
	女性の就労割合	69.4%	75%	73% (R2年度)	松戸市総合計画 後期基本計画進行管理のための市民意識調査による
	「男女共同参画社会」という用語の周知度(※1)	女性 69.3% 男性 75.5%	100%	—	男女共同参画社会に関する市民意識調査による

めざすまち	指 標	H28年度 現状値	R4年度		根 拠
			目標値	実績値	
めざすまち Ⅰ	審議会等委員の女性の割合	27.9%	40%	24.8%	松戸市男女共同参画プラン第4次実施計画による
	防災会議委員の女性の割合	20.9%	30%	18.6%	国の第4次男女共同参画基本計画の目標値を参考に設定
	自治会長に占める女性の割合	—	10%	7.8%	国の第4次男女共同参画基本計画の目標値を参考に設定
	農業委員および農地利用最適化推進委員に占める女性の人数	1人	2人	1人	H28年度は農業委員総数24人、R4年度は農業委員および農地利用最適化推進委員を合わせた22人のうちの女性の人数
めざすまち Ⅱ	子宮頸がん検診受診率	31.6% (14.0%)	50%	28.5% (11.6%)	松戸市健康増進計画 健康松戸21Ⅲによる (※2)
	乳がん検診受診率	40.5% (14.5%)	50%	47.4% (18.2%)	
めざすまち Ⅲ	消防団員の女性の人数	14人	30人	38人	松戸市消防団条例の一部改正に基づき女性消防団員の増員をめざす
	市内で活動するNPO法人数	156団体	160団体	143団体	第3次松戸市協働推進計画による
推進体制	市役所男性職員の育児休業取得率	5.1%	13%	31.5%	第4次男女共同参画基本計画の目標値を参考に設定
	管理職(本庁課長相当職以上)に占める女性の割合	15.4%	15%以上	22.2%	松戸市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画による
	消防吏員の女性の割合	4.0%	5%以上	4.2%	

※1 市民意識調査の見直しにより、めざすまちⅠ「『男女共同参画社会』という用語の周知度」の質問を削除したため実績値はありません。

※2 「子宮頸がん検診受診率」及び「乳がん検診受診率」は、令和3年度よりその算出方法が変わったため、2段書きとなっています。上段が従来の算出方法〔受診者/松戸市の女性人口(乳がん40～69歳、子宮頸がん20～69歳)-就業者+農林水産業従事者〕、下段が新しい算出方法〔受診者/松戸市の女性人口(乳がん40～69歳、子宮頸がん20～69歳)〕となり、第6次実施計画からは下段の算出方法とします。

成果目標

成果目標については、令和3年度に捕捉可能な12指標のうち、目標を達成したのは3つ(達成率:25.0%)でした。具体的には、社会全体と学校教育での男女平等感は、国の目標に従い、目標値を設定していましたが、概ね微増という結果となり、目標値には達しませんでした。

固定的な性別役割分担を支持しない人の割合や、男女共同参画への関心度、男女共同参画センターの認知度については、女性の方が高く、目標値を達成しました。しかしながら、男性はやや上がる傾向はありましたが目標まで達せず、今後の男性へのアプローチが課題となりました。

市役所職員の男女共同参画への関心度は男女とも下がっており、まず市役所職員の理解促進が必要であるという課題が浮き彫りとなりました。

※成果目標の実績値は、市民意識調査の結果を根拠としており、R3年度が直近の値となります。

めざすまち	指 標		現状値 (H28年度)	目標値	実績値 (R3年度)
めざすまち I	社会全体での男女平等感	女性	8.2%	50%	8.5%
		男性	17.5%	50%	20.3%
	学校教育での男女平等感	女性	46.1%	60%	42.9%
		男性	48.7%	60%	49.1%
	固定的な性別役割分担を 支持しない人の割合	女性	41.8%	60%	63.5%
		男性	34.2%	60%	54.7%
めざすまち II	金銭等を介する援助交際を 人権侵害と思わない割合 (※3)	女性	9.5%	0%	—
		男性	18.3%	0%	—
めざすまち III	休日に社会活動に費やす時 間(※4)	女性	18分	39分	—
		男性	22分	56分	—
推進体制	男女共同参画への関心度	女性	50.5%	60%	60.9%
		男性	52.0%	60%	50.1%
	男女共同参画センターの認 知度	女性	45.2%	50%	53.0%
		男性	19.5%	30%	24.1%
	市役所職員の男女共同参画 への関心度	女性	71.4%	80%	68.4%
		男性	62.6%	80%	60.8%

※3 市民意識調査の見直しにより、めざすまちII「金銭等を介する援助交際を人権侵害と思わない割合」の質問を削除したため、実績値はありません。

※4 市民意識調査の見直しにより、めざすまちIII「休日に社会活動に費やす時間」の質問方法を変更したため、比較できる実績値はとれませんでした。

《総 括》

基本理念 自分らしく安心して暮らせるまち

めざすまち	視 点	課 題
Ⅰ 女性も男性も支え合えるまち	1 働きたい女性が活躍できる	1 男女が育児・介護と仕事を両立できる
		2 子育て中の女性が働き続ける
		3 男性の仕事中心の生活を見直す
	2 男女が個性と能力を発揮する	4 性別による固定的な役割分担をなくす
		5 女性の視点を入れた政策を実現する
Ⅱ いろいろな家族のかたちを尊重するまち	3 男女の人権を尊重する意識を高める	6 あらゆる暴力をなくす
		7 女性も男性も自分の健康を守る
		8 子どもが性別にとらわれずに育つ
	4 困難な状況にある男女が生きやすくなる	9 若い世代が安心して暮らせる
Ⅲ 女性も男性も地域でつながりあうまち	5 女性と男性が地域で活躍できる	10 地域活動に参加する女性と男性を増やす
		11 高齢者が安心して生活できる
計画の推進体制		取 組 み
		1 男女共同参画を推進する組織・団体との連携を進める
		2 男女共同参画の推進拠点「ゆうまつど」の機能強化を図る
		3 市職員の男女共同参画を推進する

※「課題」の網掛け部分は「重点的に取り組む課題」

松戸市では、平成30年度に松戸市男女共同参画プラン第5次実施計画を策定し、基本理念である「自分らしく安心して暮らせるまち」の実現に向けて、取り組みを進めてきました。

この計画は、前述(1頁)のとおり「活動目標」と「成果目標」を設定し、施策を進めてきましたが、「活動目標」の中でも、子育て支援に関わる目標の達成率は上がっていること、推進体制として市役所が推進しなければならない「特定事業主行動計画」に目標を定めている「市役所の女性管理職の割合」や「男性の育児休業取得率」は上がっていることなどが分かります。しかしながら、「審議会等委員の女性の割合」など、政策・方針決定過程の女性の参画は、目標には程遠い状況です。

また、「成果目標」は、市民の意識を反映したものですが、これも達成度は低い結果となりました。

これらのことから、あらゆる分野における男女共同参画につながる「政策・方針決定過程の女性の参画」をより一層推進していくとともに、市民の側においても「ジェンダー平等意識の醸成」を進める必要があります。

今回の計画期間には、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、生活・雇用の不安定さや生活困窮など、社会の課題も浮き彫りとなっており、そのような状況下では女性や社会的に弱い立場にある人が、より強い影響を受けてしまうことを踏まえ、計画を推進していくことが重要です。

第5次実施計画では、全体を通して「活動目標」と「成果目標」を設定しましたが、その目標と各課の事業との紐づけが見えにくいことから、第6次実施計画では各課題に目標を設定し、実施主体を明確にしたうえで目標達成を目指すこととしました。